

平成 30 年度需給計画の実績における市町村別の状況について

1 需要量（量の見込み）の状況

計画値と実績値で 10%以上の乖離（計画値<実績値=110%以上）が生じた市町村

区分		市町村数	
			うち、需給差（供給不足）が生じた市町村
1号	3～5歳	6	なし
2号	3～5歳	10	6
3号	0歳	5	1
	1～2歳	7	7

- ・ 3号（1～2歳）は、見込み以上のニーズの発生による。また、計画値と実績値に乖離が生じた7団体全てにおいて需給差（供給不足）が生じた。

2 供給量（確保の内容）の状況

計画値と実績値で 10%以上の乖離（計画値>実績値=90%以下）が生じた市町村

区分		市町村数	
			うち、需給差（供給不足）が生じた市町村
1号	3～5歳	1	なし
2号	3～5歳	4	2
3号	0歳	7	1
	1～2歳	8	7

- ・ 3号（1～2歳）は、認定子ども園移行化の遅れや地域型保育事業の開設の遅れ等による。また、計画値と実績値に乖離が生じた8団体中7団体において、需給差（供給不足）が生じた。

3 供給量（確保の内容）の拡充状況（平成 29 年度～30 年度）

33 市町村中 4 団体において、2号及び3号の全てにおいて拡充実績値が拡充計画値を下回った。平成 29 年度に実施した中間年の見直しにより、平成 30 年度の供給量の計画値を上方修正したが、平成 30 年度の実績値がそれに及ばなかったことによる。

4 需給差の状況

供給不足が生じた市町村

区分		市町村数
1号	3～5歳	2
2号	3～5歳	14
3号	0歳	3
	1～2歳	26

- ・ 3号（1～2歳）は、市町村全体（合計）においても供給不足となった。